

**製品名: 嗅覚受容体 8G5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15327**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	30kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OR8G5
別名	OR8G5; OR8G5P; OR8G6; Olfactory receptor 8G5; Olfactory receptor 8G6; Olfactory receptor OR11-298
遺伝子 ID	219865.0
SwissProt ID	Q8NG78
免疫原	抗血清はヒト OR8G5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 197-246

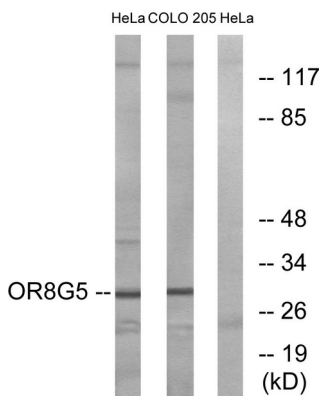
**背景**

嗅覚受容体ファミリー 8 サブファミリー G メンバー 5 (OR8G5) ホモサピエンス嗅覚受容体は鼻の中で嗅覚分子と相互作用し、匂い

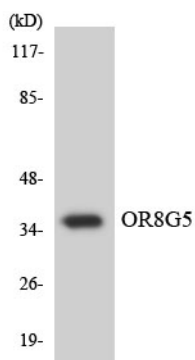
の知覚を引き起こす神経反応を開始します。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーのメンバーです。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7つの膜貫通ドメイン構造を共有し、匂い信号の認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子とタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能:嗅覚受容体,多型:このタンパク質をコードする遺伝子の Tyr-259 位の終止コドンが機能的多様性の原因となり、擬似遺伝子が生成されます。類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、

## 研究分野

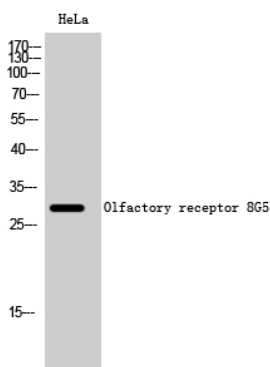
## 画像データ



OR8G5 抗体を用いた HeLa 細胞および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



OR8G5 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



嗅覚受容体 8G5 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析

